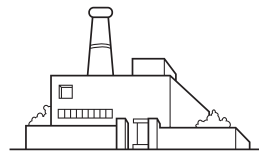


クリーンセンター建設に向けて

～クリーンセンター建設には、皆さんのご理解とご協力が必要です～

今月号では、ごみの減量と分別による焼却施設への負担や地球温暖化対策を紹介します。ごみの減量は、地球温暖化対策だけでなく、焼却施設への負担を軽減できることから、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



■打越台環境センターの現状

現在、燃やすごみは打越台環境センターで焼却処理しています。本センターは、稼働から約31年が経過し、施設の老朽化が相当進んでいます。修繕により延命化につとめていますが、いつ焼却処理ができなくなってもおかしくない状態です。新クリーンセンターの一日も早い建設・稼働が求められています。

■ごみ処理と地球温暖化

ごみを焼却すると、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)が発生することから、ごみを減量することで、地球温暖化対策となります。ごみの中でも、動植物由来である生ごみや木材などは、カーボンニュートラルの考えから、焼却したときに発生するCO₂はカウントせず、化石資源由来のプラスチックなどについて、CO₂排出量にカウントします。地球温暖化対策として、温室効果ガスであるCO₂の排出量を削減するため、燃やすごみについて、ビニール・プラスチックごみなどと、きちんと分別を徹底することで、焼却場から排出されるCO₂を削減することができます。また、ごみの分別の徹底は、処理施設の負担軽減にもなります。

※カーボンニュートラル・・・植物由来の炭素については、もともと植物が大気中のCO₂を固定したものであるため、焼却などで再び大気中に排出されたとしても、排出量にカウントしないというCO₂算定の前提条件。

■生ごみの減量方法

生ごみの減量方法として、食べ残しを無くすことや、必要以上の食材を購入しないなどの取り組みが有効です。また、家庭での生ごみについては、水切りを徹底することで、大幅な減量ができます。生ごみは、ギュッとしぼり、余分な水分を切ってから、ごみとして出してください。

■燃やすごみに含まれる古紙・古布類

打越台環境センターにおけるごみ質調査によると、燃やすごみの約1/4が古紙・古布類です。古紙は再び紙などの原料にすることができます。本市では、地域の住民団体が取り組む古紙類の集団回収に補助金も出していますので、ぜひご協力ください。

■ごみ処理とクリーンセンター

クリーンセンターは、皆さんの日常生活に欠かすことのできない基本的な都市サービス施設です。ごみ処理施設に負担がかかることのないよう、ごみの排出抑制・減量化推進に、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■最新クリーンセンター見学会

先進地クリーンセンター見学会をおこないます。「クリーンセンターかしはら」は、平成17年2月に稼働した施設で、近隣では比較的新しい施設です。ぜひ、ご参加ください。

と き 2月17日(木)

集 合 木津川市役所東側駐車場 午後1時(市役所到着予定：午後5時)

と ころ クリーンセンターかしはら(奈良県橿原市)

対 象 市内にお住まいの方

定 員 30人(先着順)

申 込 2月16日までに、住所・氏名・年齢・連絡先を電話、または電子メールで清掃センター推進室へ。

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室
☎75-1215 Fax72-3900
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp